

目次

- 2021年度第2回部門理事会・評議員会 合同会議について……………1
- 2021年度 秋のIOMA GC会議開催……………2
- 賛助会員—株式会社ニヤクコーポレーション— ……4
- 規制緩和提案ポストのご紹介 ……6
- ウェブサイトにスライド動画2本を掲載しました!……………8
- 炭酸ガス保安講習会をオンデマンドセミナーとして開催しました! ……8
- 2022年賀詞交歓会の中止について ……9
- 機能別組織への再編と諸制度の見直しによる運営合理化、適正化に関する
説明会開催 ……9
- 会員ウェブサイトへのリンク設置について ……9
- 第15回MGR認定試験を開催……………10
- 「医療ガス消費者のためのヒヤリ・ハット事例集在宅編」販売開始のご案内 ……12
- 第10回日本産業・医療ガス協会表彰募集要項……………14
- ウェブサイト掲載お知らせ一覧—2021年10月15日~2021年12月15日掲載—…17
- 気ままにコラム ……19

2021年度第2回部門理事会・評議員会 合同会議について



今井会長挨拶の様子

11月24日、ホテルメルパルク大阪にて2021年度第2回部門理事会・評議員会合同会議を開催しました。

理事会では、産業ガス・医療ガス両部門より定数各10名のところ10名すべての理事が出席しました。評議員会は産業ガス部門定数37名のところ25名、医療ガス部門定数48名のところ33名が出席しました（代理出席含む）。

今井会長は挨拶で、緊急事態宣言中の医療用酸素供給について触れ、会員会社各位の「安定供給」への強い使命感によりこの事態を乗り切ることができたと謝意を示しました。

JIMGAの活動については、教育事業委員会が進めるオンデマンドセミナーの運営状況、環境安全部会による省エネ法ベンチマーク制度指標導入の検討、規制改革部会による医療用酸素FRP容器の検査期間の変更に関する進捗状況等について報告しました。

決議事項および報告事項

決議事項では、議長に選出された今井会長の進行により、第1号議案「入会希望事業者審査の件」、第2号議案「規程類制定の件」および第3号議案「2022年度評議員および理事候補選出の件」の審議・決議が行われ、全会一致で承認されました。

報告事項では、「2021年度上期活動報告」、「同上期収支計算書報告」、「機能別組織への再編と諸制度の見直しによる運営合理化、適正化の活動進捗報告」および「内部監査報告」等が行われました。

議案書をJIMGAウェブサイトの[会報誌・本部活動報告]>[理事会・評議員会] (<https://www.jimga.or.jp/report/rijikai/>) に掲載しております。会員ログインのうえご覧ください。
(広報委員会 事務局 石原 智子)



2021年度第2回部門理事会の様子

2021年度 秋のIOMA GC会議開催

予定されていたIOMA（International Oxygen Manufacturers Association／国際酸素製造者協会）Washington DC総会が昨年度に続き11月4日～5日にWeb開催となったのを受けて、IOMA GC（Global Committee／国際委員会）が、総会に先立ち10月29日の20時より2時間、Web形式で行われました。

GCメンバー7社（Air Liquide、Air Products、Air Water、Iwatani、Linde、Messer、Nippon Sanso）に加え、産業ガス協会4協会（AIGA、EIGA、CGA、JIMGA）、IOMA事務局、Whiteford Tayer Preston法律顧問、サポート6名の参加があり、参加者総勢19名の会議となりました。

Todd Skare氏（Linde）が議長を務め、会議が開始されました。定足数確認、独占禁止法遵守宣言、前回会議議事録の承認を経て、次年度からのIOMA GC会議の議長、副議長の選任が行われました。2022年～2023年度の議長に、Ivo Bols氏（Air Products Europe）、副議長にJens Luehring氏（Messer Groupe）が、就任することとなりました。



2021年度秋のIOMA GC会議（10/29）参加者

活動報告

中国Yima市のASU事故タスクフォースチームについては、活動が終了し、gasworld10月号に記事が掲載されたこと、また、中国で起きた平底タンク事故のタスクフォースチームの活動が開始されたことがCGAより報告されました。それにかかわる中国の技術基準との国際整合化について議論され、技術的な国際整合化活動については合意され、タスクフォースチームで対応することとなりました。

水素プロジェクトについては、技術文書のギャップ分析がISOの活動の中で行われているため、それを支援することとなりました。また、エコシステムの活動を開始し、e-Learning等の教育資料を4協会共同で作成することとなりました。持続可能性指標については、地球温暖化ガス排出の算出法についてガスメジャー各社の相違がありましたが、統合された最終ドラフトを作成中であることが報告されました。

サイバーセキュリティについては、統合化の作業項目をどのようにするか議論を開始することになりました。また、IOMA GCの国際統合化活動をさらに包括的なものとし、GCメンバー以外の要望を入れる方法について議論することとなり、次回のIOMA総会で、パネルディスカッションを行うよう準備することとなりました。



2021年度秋のIOMA GC会議（10/29）
水素プロジェクトのプレゼンテーション

今後の予定

最後に、次回第50回 IHC (International Harmonization Council/国際統合化委員会) 会議が、2022年2月にJIMGA主催で開催されることを確認し、会議が終了しました。

次回のIOMA GC会議は2022年4月末～5月初旬にWebで開催されます。毎年秋に開催されるIOMA総会は、2022年度はポルトガルのリスボン、2023年度は米国のワシントンDCで開催予定となっています。
(国際部会 事務局 羽坂 智)



賛助会員 —株式会社ニヤクコーポレーション—

沿革

当社は1948年に設立され、設立後すぐに石油元売を荷主とするタンクローリーを導入したほか、構内請負作業を受託するなど、設立以来、全国ネットワークを駆使したきめ細かな物流サービスを提供しております。

とりわけ、高圧ガス物流分野においては約700台に及ぶ専用車両と約1,000名規模の従業員を擁しており、この分野では国内トップクラスの規模を誇り、天然ガス、セパレートガス、炭酸ガス、産業ガスといった各種高圧ガス製品の輸送・保管に加え、製品基地の運営受託サービスも行っています。



セパレートガスローリー



高圧ガス容器置場



ストックポイントでの作業の様子

社内研修制度(NCTS)

NCTS (Niyac Cryogenic Technical School) は、高圧ガス物流のなかにおいて、とりわけ超低温の高圧ガス物流に関する幅広い知識や技能を習得するための当社独自の研修制度です。

全国に研修スタッフであるインストラクターを配置し、関係法令・製品知識・特性などに関する講義、カットモデルを用いた車両・資機材の構造理解を深めるための机上研修のほか、充填・荷卸訓練、非常時の対応などを習得するための実技訓練を行なうことにより、国内最大規模を誇るニヤクコーポレーショングループの高圧ガス物流サービスの品質を支えています。また、全国の複数拠点に実物大の「LNG車両カットモデル」を配置し、教材として活用しています。



机上研修の様子



実技訓練の様子



LNG車両カットモデル

■ 高圧ガスエンジニアリング(容器点検整備技能センター)

当社グループでは超低温高圧ガス容器の指定検査機関として認可を取得している、株式会社ニヤクガスエンジニアリングサービスを主体に、全国の主要拠点に開設された「高圧ガス容器点検整備技能センター」において、保安検査・定期自主検査・容器再検査といった法定検査のほか、使用する全ての機材に関する点検整備を内製化するなど、万全の体制を構築しています。

これにより、当社グループでは、高圧ガス物流サービスの安全品質を自社グループ内で完全担保できる体制となりましたが、将来的には外部からの高圧ガス容器の点検整備の受託も視野に入れ、高圧ガス物流のリーディングカンパニーとして一層の質的向上に向けた取り組みを進めてまいります。

(株式会社ニヤクコーポレーション 営業第4グループ 副部長 山根 裕介)



高圧ガス容器点検整備技能センター



法定検査の様子



法定検査の様子

株式会社ニヤクコーポレーション URL: <http://www.niyac.co.jp/>

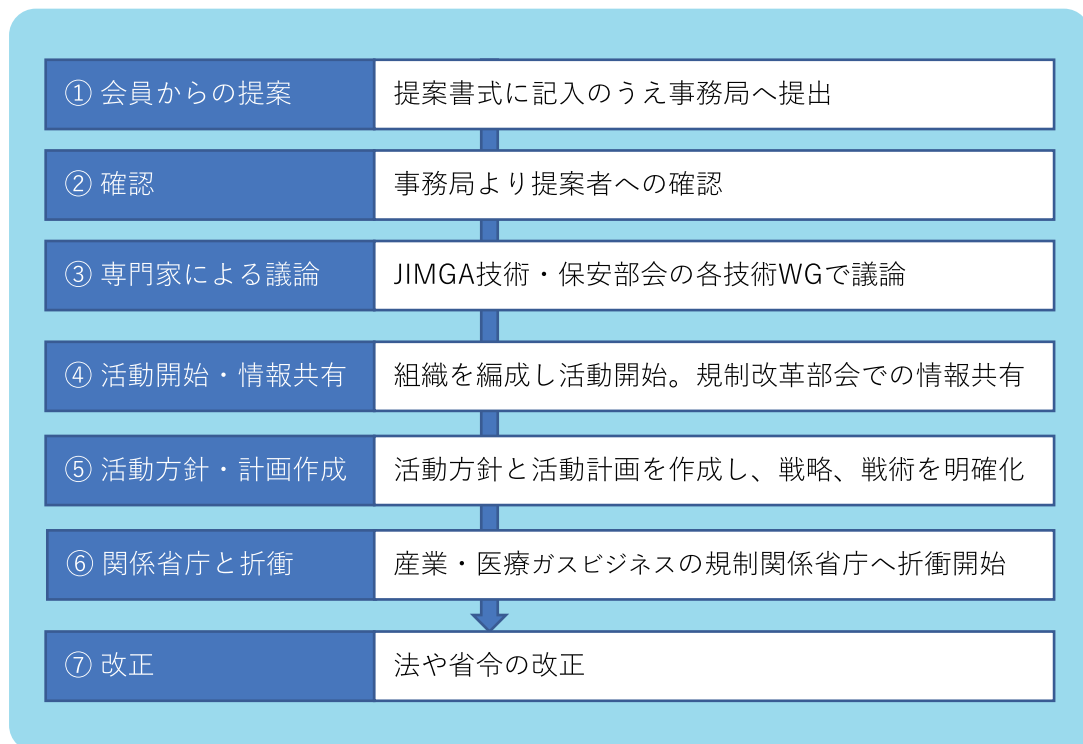


規制緩和提案ポストのご紹介

規制改革部会ではJIMGA会員の皆様から、規制緩和提案の手続きがスムーズとなるよう、JIMGAウェブサイト「規制緩和提案ポスト」を設置しています。

規制緩和提案から改正までの流れ

会員の皆様が、法的措置に従って日常の業務を遂行する上で、ご不便を感じる内容がありましたら、JIMGAにご相談ください。JIMGA内の技術・保安部会で議論し、内容を吟味したうえで、規制緩和提案の内容を関係省庁と折衝し、規制緩和が実現できるよう活動を促進します。提案から改正までの主な流れは以下のとおりです。



規制緩和提案から改正までの流れ

活動中のテーマ

規制緩和提案ポストのページでは、現在活動中のテーマの進捗がわかるよう、進捗を適宜アップデートしています。

現在は、次のページの表のとおり、13件のテーマが活動中です。このうち「2013-002 在宅酸素用LOX装置の製造届出要件の緩和」、「2020-002 保安企画推進員の選任条件の緩和」、「2020-005 空気分離装置の自動化・遠隔監視による設備運営・管理体制の見直し」、「2020-009 CE 入替時の申請の緩和」の4件は、2021年度経済産業省一般法技術検討委員会で議論され、法改正へ向けて対応中です。

活動テーマ・進捗状況

2021年12月10日現在

管理番号	テーマ名	提案会員	担当チーム	進捗
2013-001	医療用酸素容器の定期点検期間の緩和	医療ガス部門	在宅酸素部会	自主基準作成済み、経産省高圧ガス保安室との折衝継続
2013-002	在宅酸素用LOX装置の製造届出要件の緩和	医療ガス部門	在宅酸素部会	2021年度高圧ガス保安協会委託事業,12/7第3回法技術検討委員会
2017-001	CE設置事業者での単独荷卸しに関わる運用	産業ガス部門	保安対策WG	活動中断
2020-001	食品衛生管理者の選任緩和	昭和電工ガスプロダクツ	炭酸ガス技術WG	要望書作成中
2020-002	保安企画推進委員の選任条件緩和	大陽日酸	タスクフォース	2021年度高圧ガス保安協会委託事業,12/7第3回法技術検討委員会
2020-003	圧力容器等に関する二重規制の緩和	岩谷産業	タスクフォース	要望書作成中
2020-004	特別充填許可可能容器種の緩和	日本エア・リキード	タスクフォース	11/30経済産業省高圧ガス保安室へ現状説明、DOT容器の海外再検査容器の国内充填ができることを確認
2020-005	空気分離装置の自動化・遠隔監視による設備運営・管理体制の見直し	日本エア・リキード	JIMGA事務局	2021年度高圧ガス保安協会委託事業,12/7第3回法技術検討委員会
2020-006	災害復旧時の高圧ガス設備の書類審査の簡素化	岩谷産業	タスクフォース	2021年11月15日第2回会議
2020-007	充填量アップ (PH3)	日本エア・リキード	タスクフォース	海外のエビデンス調査
2020-008	減圧による製造行為は、製造に該当しないよう緩和	日本エア・リキード	規制改革部会	経産省高圧ガス保安室より、消費扱いとするための調査依頼(10/12)があり、調査中
2020-009	CE入れ替え時の申請の緩和	大陽日酸	タスクフォース	2021年度高圧ガス保安協会委託事業,12/7第3回法技術検討委員会
2020-010	FRP容器の使用期限、及び耐圧年数の緩和	医療ガス部門	医療用FRP容器	10/25第20回高圧ガス小委員会にて、再検査期間を3年から5年に変更することが承認

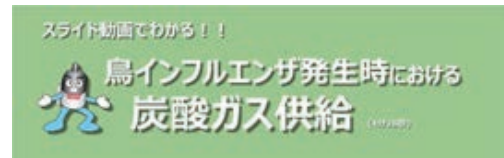
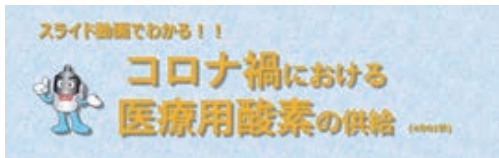
提案の際は、トップページ下部のバナー（下図参照）または規制緩和提案ポストのページ（<https://www.jimga.or.jp/business/deregulation/>）より、提案書式をダウンロードしてお送りください。

（規制改革部会 事務局 羽坂 智）

The image shows a grid of navigation buttons on the JIMGA website. The buttons include: MGRのページ, 容器所有者登録のページ, 添付文書のページ, HOT受託責任者登録のページ, 医療ガス安全教材(ビデオ教材)視聴受付, 会員ログインマニュアル, アンケート 会報について ~12/15. A callout box points to a banner for '規制緩和提案ポスト' (Regulation Relaxation Proposal Post) with the text 'トップページよりこのバナーをクリック' (Click this banner from the top page).

ウェブサイトにはスライド動画2本を掲載しました!

11月11日～30日の間、JIMGAウェブサイトトップページバナーを変更し、「コロナ禍における医療用酸素の供給」、「鳥インフルエンザ対応における炭酸ガス供給」という2本のスライド動画を掲載しました。一般の方々向けに簡単にご紹介した4～5分程度のスライド動画です。



今後はこういったスライド動画も活用し、産業・医療ガスの役割をタイムリーにご紹介していきます。ご視聴は、ウェブサイトトップページにある「産業ガス・医療ガスについて」(<https://www.jimga.or.jp/gas/>) をクリックすると表示される上記イラストボタンよりお進みください。

(広報委員会 事務局 岩戸 康人)

炭酸ガス保安講習会をオンデマンドセミナーとして開催しました!

11月1日～12月31日の2か月間で、e-ラーニング形式教材によるオンデマンドセミナーを開催し、382名の方々にご受講いただきました。本セミナーは全部で3講座（高圧ガス保安法の要点、液化炭酸ガス取扱テキスト、事故事例の深掘と注意喚起）で構成されていて、それぞれの講座には1本5分前後のe-ラーニング形式教材が6～7本と修了テスト1本が含まれています。学習終了後には、講座毎に修了証が発行できるようになっています。

スマホでも視聴可能なため、通勤電車内やちょっとした空き時間を利用することができ、大変便利です。今回は3講座の他に、JIMGA発行図書の一部や動画資料などもご紹介させていただきました。

市販の学習システムを使った初めての運用であったこともあり、いくつか操作に関するお問合せをいただきましたが、特に大きなトラブルもなくご受講いただけているようです。

今後も同様の形式のオンデマンドセミナーを順次開催していきますので、是非、社内教育にご活用ください。

(教育事業委員会・企画運営部会 事務局 岩戸 康人)

ログイン画面と
e-ラーニング形式教材画面

修了テスト

修了証

好評につき
2022年2~3月
追加開講決定!!
お申し込みは
JIMGAウェブサイトへ

2022年賀詞交歓会の中止について

新型コロナウイルスの感染拡大は落ち着きを見せ始め、経済活動も徐々に活発化しつつあるところですが、新しい変異株での感染再拡大が懸念され、引き続き予断を許さない状況です。

JIMGAでは、2021年の賀詞交歓会を中止したことから2022年の賀詞交歓会を開催すべく検討を重ねてまいりました。しかしながら、開催にあたっては様々な制約や条件を設けざるを得ず、皆様に喜んでいただける賀詞交歓会の開催は困難であるとの結論に至り、誠に遺憾ではありますが、皆様の安全、健康を最優先に考え中止とさせていただきます。ご参会を予定されていた皆様には大変ご迷惑をおかけいたしますが、何卒ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

なお、本件はJIMGAウェブサイトに掲載 (<https://www.jimga.or.jp/news/detail.php?id=1080>) し、ユーザー登録されている皆様にはその旨ご連絡差し上げております。

(運営グループ 事務局)

機能別組織への再編と諸制度の見直しによる運営合理化、適正化に関する説明会開催

JIMGAnews第66号でお伝えいたしました地域本部単位での、主に役員の方を対象とした説明会を全9地域本部で開催し、大変多くのご意見を頂戴することができました。コロナ禍の中で出席いただきました方々、また、ご意見をお寄せくださいました方々に深く御礼を申し上げます。

頂戴したご意見等は近日中にJIMGAウェブサイトに掲載し、広く会員の皆様にご覧いただく予定です。本紙面では詳細のご報告はできませんが、総論として機能別組織への再編と諸制度の見直しによる運営合理化、適正化に係る活動に関してはご理解をいただいたものと考えております。しかしながら、今回の説明会では会費制度に関する内容など、具体性をもってご説明できていない事案もあり、この度頂戴したご意見を参考にさらに検討を進め、あらためて皆様にご説明する場を設けさせていただきたいと思っておりますので、引き続きのご協力を何卒よろしくお願い申し上げます。

(運営グループ 事務局)

会員ウェブサイトへのリンク設置について

協会案内ページにある「会員企業一覧」 (<https://www.jimga.or.jp/about/member/>) において、会員各社ウェブサイトへのリンク設置を行っております。リンク設置を希望される場合は、会員会社名とウェブサイトURLをお書きの上、JIMGA広報アドレス (jimga-koho@jimga.or.jp) へご連絡ください。

リンク設置後にURLが変更となった際にも、上記JIMGA広報アドレスへご連絡ください。

(広報委員会 事務局)

第15回MGR認定試験を開催

2021年12月5日(日)に第15回MGR認定試験を札幌、仙台、東京、大阪、福岡の5か所の会場で開催しました。

9月以降に新型コロナウイルス感染者数が急速に減少したこともあり、昨年度の受験者数よりも多い185名の方が受験申込をされ、178名の方が認定試験に臨まれました。

感染対策の実施

本年7月に実施した導入時集合講習および来年2月に実施予定の更新時集合講習は、新型コロナウイルス感染症の感染防止の観点から昨年に引き続きオンデマンド講習としていましたが、認定試験に関しては、今のところ会場での受験方法しかありません。そのため、「2021年度MGR認定試験における新型コロナウイルス感染症対策」を策定し、これに基づく対策を実施した上で開催しました。

「2021年度MGR認定試験における新型コロナウイルス感染症対策」は、次の項目で構成しています。

1. 検温の実施、体調不良の方の受験対応
2. 試験会場へお集まりいただくに際して
3. マスクの着用等について
4. 試験会場等の換気について
5. その他



新MGR管理システムでの受付

MGR管理システムを10月4日にリニューアルしたことから、各MGR管理者におかれては、いまだ慣れない新しいシステム環境の中で認定試験の申込手続きを行っていただきました。

受験当日、受験番号が一部重複するという問題が発生しましたが、幸いにも大きな混乱に至ることもなく、無事に試験を終了することができました。ご迷惑をおかけした受験者におかれましてはこの場をお借りしてお詫び申し上げます。

生まれたての新MGR管理システムですが、どうぞ末永くお付き合いいただきますようお願いいたします。



受付時のソーシャルディスタンス
(上：東京会場・下：九州会場)

当日の様子および試験結果

試験当日は、受験者の皆様に定刻までにご参集いただき、感染症対策に則り、スケジュールどおりに試験を実施することができました。昨年に比べると欠席者も少なく、皆様の意気込みを感じました。

前述の受験番号重複の他は、大きなアクシデント等もなく、各会場ともつつがなく認定試験を終えることができました。

試験終了後、MGR試験委員会において合否判定を行い、新たに120名の方がMGRとして認定されました。試験結果は、JIMGAウェブサイトのお知らせで公開しております。

▽試験結果はこちら

<https://www.jimga.or.jp/news/detail.php?id=1098>

新型コロナウイルス感染症対策下において初めて認定試験を受験された方にとっては、MGR導入時集合講習がオンデマンド講習となり、また、初めての方も再受験の方も、コロナ禍に直面する医療機関等へ業務として出向きながら試験勉強をされたこともあったのではないかと思います。

昨年に引き続き今までにない環境下での受験となりましたが、数年ぶりに100名を超える合格者（MGR認定者）が誕生いたしました。皆様のご努力が結実したものと存じます。今後ともMGR認定・教育制度へのご協力をよろしくお願いいたします。

（教育事業委員会・MGR部会 事務局 徳永 裕通）



東京会場（都立産業貿易センター浜松町館）

「医療ガス消費者のためのヒヤリ・ハット事例集在宅編」販売開始のご案内

1. 概要

昨年9月に、医療機関におけるヒヤリ・ハット事例をまとめた「医療ガス消費者のためのヒヤリ・ハット事例集病院編（第2版）」を発行しましたが、この度、在宅酸素部会の協力を得て、在宅酸素療法におけるヒヤリ・ハット事例をまとめた「医療ガス消費者のためのヒヤリ・ハット事例集在宅編」の発行に至りました。

本書は、在宅酸素療法患者に酸素を安全にご使用いただくよう、解説を加えたわかりやすい表現となっております。医療従事者や在宅酸素事業者だけでなく、患者やそのご家族など幅広い方にご活用いただけるものと思っております。

今後、各種講習会や病院等での職員研修で幅広くご活用いただき、医療現場にて医療ガスによる事故がなくなる一助になれば幸いです。



表紙イメージ

2. 内容

- (1) 図 書 名：医療ガス消費者のためのヒヤリ・ハット事例集 在宅編
- (2) 図書番号：JMG-TEC0005
- (3) 版 番 号：初版（発行日：2021年12月15日）
- (4) 主 管：技術委員会

3. 購入方法

ご購入を希望される方は、以下のJIMGAウェブサイト出版物・物品ページにアクセスしていただき、お申込みください。会員・非会員にかかわらずご購入いただけますが、会員価格でのご購入には、事前にユーザー登録（会員会社のドメインのついたメールアドレスをお持ちであれば登録可能です）をしている必要がありますので、ご注意ください。

▽本書のご購入はこちら

<https://www.jimga.or.jp/publication/books/index.php?c=002003&department=&format=>

4. 販売開始日

2021年12月15日(水)

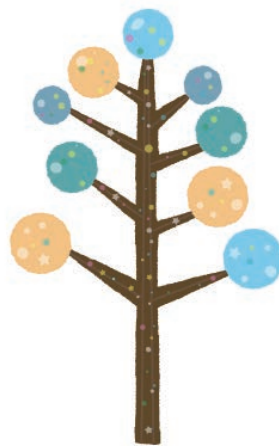
5. 価格

価格は以下のとおりです。

商品	数量	会員		非会員	
		単価	金額	単価	金額
		(税込)	(税込)	(税込)	(税込)
医療ガス消費者のための ヒヤリ・ハット事例集在宅編 (JMG-TEC0005/初版)	1冊	880	880	1,320	1,320
	100冊セット	330	33,000		
	200冊セット	187	37,400		
	300冊セット	143	42,900		
	400冊セット	121	48,400		
	500冊セット	110	55,000		

※500冊以上ご購入される場合は、上記の組み合わせ価格となります。

(技術委員会 事務局 城久尚)



第10回日本産業・医療ガス協会表彰募集要項

1. 実施目的

一般社団法人日本産業・医療ガス協会（以下「協会」という。）の定款第4条に規定する事業に基づき、協会の活動に貢献した個人及び組織・団体の功績を称えるものである。

2. 募集対象

- (1) 協会会員会社に所属する個人、あるいは、協会の本部または地域本部の常置部会、特別部会、委員会、分科会、ワーキンググループ並びに会員会社の部署、研究所等の組織または団体
- (2) 協会会員以外で、広く産業ガス及び医療ガス業界に貢献した者であって、会員が推薦する個人

3. 表彰部門

- (1) 安全賞：連続20年以上無事故・無災害事故記録を達成し、他の模範として表彰することが適当と認める会員の製造工場または医療ガス・機器販売店
- (2) 功労賞：長年にわたり協会の事業に協力、成果を挙げた個人、組織・団体
- (3) 会長賞：産業・医療ガス業界に多大な貢献をした個人、組織・団体

注1：会員の製造工場とは、個々の高圧ガス製造工場（充填工場を含む。以下「製造工場」という。）を意味し、高圧ガス保安法（以下「保安法」という。）に基づく製造許可範囲を一事業所とする。一社で複数の製造工場を所有している場合は、それぞれの製造工場が該当する。ただし、医療ガス部門は、会員登録している事業所のみを対象とする。

注2：事故・災害とは、次のとおりであり、該当する事故・災害が発生した時点で、連続記録は適用されない。

- ① 休業1日以上事故・災害
- ② 保安法及び一般高圧ガス保安規則に定める都道府県に報告すべき高圧ガスに係る事故

注3：表彰基準日から起算して過去5年以内にコンプライアンス違反があった場合は、表彰に該当しない。

4. 賞の種類及び推薦基準

- (1) 安全賞：2022年1月1日現在で基準に達している事業所
- (2) 功労賞：以下の各分野に貢献した個人、組織・団体（保安教育及び地域活動については個人のみ）

技術功労賞：新製品開発・改良等により高い評価を受け、業界の向上・発展に貢献

業務功労賞：業務改善・新市場開拓等により高い評価を受け、業界の向上・発展に貢献

災害功労賞：災害の未然防止、災害時の被害低減・人命救助等に貢献

環境保全功労賞：環境保全活動等により高い評価を受け、業界の向上・発展に貢献

標準化功労賞：規格・基準の制改定に尽力し、高い評価を受け、業界の向上・発展に貢献
流通改善功労賞：輸送の安全、流通の改善等に高い評価を受け、業界の向上・発展に貢献
容器保安功労賞：放置容器・不明容器の回収活動について長年にわたる顕著な功績

保安教育功労賞：医療ガス並びに産業ガスの保安講習会（草の根等）の運営又は講師として、保安教育に貢献

地域活動功労賞：地域本部活動に協力し、15年以上にわたり協会運営に協力した個人

(3) 会長賞：産業・医療ガス業界に多大の貢献のあった個人、組織・団体

5. 表彰の数と条件

- (1) 安全賞：基準に達していること（ただし、多数の場合には選考委員会で調整する。）
- (2) 功労賞：部門毎に原則として、各分野1件以内とする。
- (3) 会長賞：部門ごとに1件以内とする。
- (4) 表彰の内容：表彰は、表彰状及び副賞を授与する。

注1：原則として、個人は2種類の賞を同時に受賞することはできないが、個人と組織・団体で賞を併せて受けることができる。

6. 審査方法

産業ガス部門・医療ガス部門それぞれの選考委員会において表彰候補者の書面審査を行い、産業ガス部門においては総務部会、医療ガス部門においては総務委員会において表彰対象者を選出し、部門理事会・評議員会合同会議に諮り決定する。

7. 応募方法

各部門の安全賞及び功労賞の分野ごとに下記の推薦者が規定書式に必要事項を記入し、選考委員会事務局宛にPDF形式でメール送信、郵送、もしくはFAXのいずれかの手段で応募する。

なお、推薦書書式は、下記推薦者が指定する宛先に指定の方法で事務局から送付する。

推薦者

- (1) 安全賞：各部門地域本部長
- (2) 功労賞：各部会長（特別部会を含む）、各委員長、分科会長、各部門地域本部長
- (3) 会長賞：総務部会長、総務委員長

8. 応募期間：2022年3月1日～3月31日

9. 審査結果発表

受賞者本人及び勤務先並びに推薦者に事務局から通知する。また、協会ウェブサイト、広報誌に発表するほか、業界関連メディアにリリースする。

10. 表彰式

- (1) 安全賞は、各地域本部代表者1名を定時総会において表彰する。
- (2) 功労賞は、受賞者全員（ただし、組織・団体の場合は、その代表者）を定時総会において表彰する。
- (3) 表彰対象者の交通費（日当、宿泊費を除く）は協会が負担する。

11. 問合せ先

日本産業・医療ガス協会 表彰選考委員会事務局

〒105-0012 東京都港区芝大門2丁目8番13号 サクセス芝大門ビル4階

医療ガス部門担当： 田邊（たなべ）

TEL：03(5425)2255 FAX：03(5425)1189 e-mail：htanabe@jimga.or.jp

産業ガス部門担当： 岩戸（いわと）

TEL：03(5425)2255 FAX：03(5425)2256 e-mail：yiwato@jimga.or.jp

以上

（日本産業・医療ガス協会 表彰選考委員会 事務局）



ウェブサイト掲載お知らせ一覧 —2021年10月15日~2021年12月15日掲載—

JIMGAウェブサイトでは、会員の皆様に向けた最新の情報をお知らせページにて掲載しています。2021年10月15日~2021年12月15日までに掲載したお知らせをまとめましたので、URLよりご覧ください。最新のお知らせはこちら→<https://www.jimga.or.jp/news/>



- 2021.12.15 在宅酸素療法(HOT)サービス事業者の皆様へのお願い
<https://www.jimga.or.jp/news/detail.php?id=1096>
- 2021.12.15 添付文書電子化に伴う追加注意事項について
<https://www.jimga.or.jp/news/detail.php?id=1095>
- 2021.12.15 「医療ガス消費者のためのヒヤリ・ハット事例集 在宅編」販売開始のご案内
<https://www.jimga.or.jp/news/detail.php?id=1094>
- 2021.12.13 「超低温貯槽の安全な設計と運転指針」発行のご案内
<https://www.jimga.or.jp/news/detail.php?id=1093>
- 2021.12.09 国家公務員倫理法・倫理規程に係る協力依頼について
<https://www.jimga.or.jp/news/detail.php?id=1092>
- 2021.12.06 製造保安責任者等の試験料金の改正に関わるパブリックコメント募集
<https://www.jimga.or.jp/news/detail.php?id=1091>
- 2021.12.02 大雪等異常気象時における輸送の安全の確保について
<https://www.jimga.or.jp/news/detail.php?id=1090>
- 2021.11.25 新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針の全面改訂について
<https://www.jimga.or.jp/news/detail.php?id=1089>
- 2021.11.25 孤独・孤立対策ホームページの新設にかかる周知について(依頼)(厚生労働省)
<https://www.jimga.or.jp/news/detail.php?id=1088>
- 2021.11.17 「社会課題解決型の企業活動に関する意識調査」への御協力依頼
<https://www.jimga.or.jp/news/detail.php?id=1087>
- 2021.11.17 下請取引適正化に係る配慮要請について
<https://www.jimga.or.jp/news/detail.php?id=1086>
- 2021.11.17 貨物自動車運送事業者の適正な運賃收受について
<https://www.jimga.or.jp/news/detail.php?id=1085>
- 2021.11.17 国際海上コンテナの陸上輸送の安全性確保に向けた実態調査への協力依頼
<https://www.jimga.or.jp/news/detail.php?id=1084>
- 2021.11.16 【訂正連絡】建築物等の解体等に係る石綿ばく露防止及び石綿飛散漏えい防止対策徹底マニュアル
<https://www.jimga.or.jp/news/detail.php?id=1083>

- 2021.11.11 トップページバナーにスライド動画を掲載しました
<https://www.jimga.or.jp/news/detail.php?id=1082>
- 2021.11.11 2022年賀詞交歓会中止のおしらせ
<https://www.jimga.or.jp/news/detail.php?id=1080>
- 2021.11.10 水際対策に関する新たな措置(変更)について
<https://www.jimga.or.jp/news/detail.php?id=1081>
- 2021.11.10 CEに係る解説資料とQ&A集のご案内
<https://www.jimga.or.jp/news/detail.php?id=1079>
- 2021.11.08 高濃度ポリ塩化ビフェニル廃棄物等の発見事例の提供等について(厚生労働省)
<https://www.jimga.or.jp/news/detail.php?id=1078>
- 2021.11.04 原材料・エネルギーコスト増の影響を受ける下請事業者に対する 配慮について
(厚生労働省)
<https://www.jimga.or.jp/news/detail.php?id=1077>
- 2021.10.29 JIMGAnews 第66号発行のご案内
<https://www.jimga.or.jp/news/detail.php?id=1076>
- 2021.10.28 2021年度第2回部門理事会・評議員会合同会議の開催につきまして
<https://www.jimga.or.jp/news/detail.php?id=1075>
- 2021.10.27 「2021年平時を含む災害対応体制及び緊急災害時の課題に関するアンケート」
へのご協力をお願い
<https://www.jimga.or.jp/news/detail.php?id=1067>
- 2021.10.21 「酸素、アルゴン、及び窒素用往復動低温ポンプの据付指針」発行のご案内
<https://www.jimga.or.jp/news/detail.php?id=1074>
- 2021.10.19 化管法の政令改正(物質見直し)
<https://www.jimga.or.jp/news/detail.php?id=1073>
- 2021.10.18 新型コロナウイルス感染予防対策ガイドラインの三訂について
<https://www.jimga.or.jp/news/detail.php?id=1072>
- 2021.10.15 厚生労働省主催「医療安全推進週間」のご案内
<https://www.jimga.or.jp/news/detail.php?id=1071>
- 2021.10.15 「在宅酸素火災予防キャンペーン」第3回川柳コンクール審査結果
<https://www.jimga.or.jp/news/detail.php?id=1070>
- 2021.10.15 津波防災の日に係る緊急地震速報訓練のご案内
<https://www.jimga.or.jp/news/detail.php?id=1069>

気ままに コラム



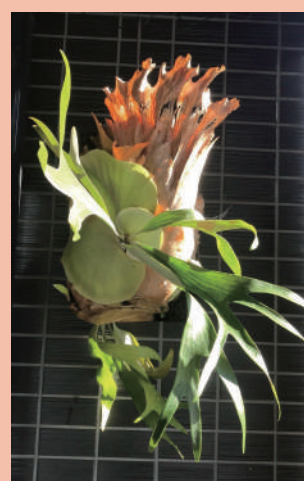
数年前、ビザールプランツと呼ばれる観葉植物の販売会で、ビカクシダ（コウモリランとも呼ばれています）というヘラジカのような葉をもつ着生植物に出会いました。

その後、植物園などでもその野趣あふれる姿を見かけ、気になっていたところ、昨年縁あって念願の一株がやってきました。

入手直後は輸送のために葉がコンパクトにカットされ、白菜のようでしたが、いつのまにか葉が伸びて最近はずいぶんカッコよくなりました。

本来、夏は遮光したり、冬は室内に取り込んだりして育てるらしいのですが、こちらは丈夫な系統で通年屋外もOKとのこと。この冬も我が家のベランダで存在感を放っています。

横から生えてきた子株を外して、板などに固定すれば株分けも可能らしく、材料を入手してみましたが大変自信がなく材料は放置…。来年のやることリストに株分けも追加しようと思います。（企画・事業グループ 石原 智子）



今号より本コラムの執筆はグループメンバーによる輪番制となりました。次号コラムもお楽しみに！